

**参加者アンケート結果の概要**  
–「中小企業と会計」コロナ禍での中小事業者の現状把握とその支援に向けて–  
【令和4年9月8日開催】

### 1. 役立度について (回答数 : 24)

大変役に立った 70.8%

役に立った 29.2%

- 【凡例】
- 1.大変役に立った
  - 2.役に立った
  - 3.あまり役に立たなかった
  - 4.役に立たなかった
  - 5.どちらともいえない

### 2. 理解度について (回答数 : 24)

よく理解できた 66.7%

ある程度理解できた 33.3%

- 【凡例】
- 1.よく理解できた
  - 2.ある程度理解できた
  - 3.あまり理解できなかった
  - 4.全く理解できなかった
  - 5.どちらともいえない

### 3. ご意見・ご感想

#### 【どの部分が役に立つと考えでしょうか。】

- ・事業性評価に対して考えが深まった。今後の指導へつなげていきたい。
- ・バランスシートアプローチについて、部下への指導方法（考え方）のヒントになりました。話法も勉強になりました。
- ・お客様目線で考えることができました。
- ・資金繰りのリバランスの重要性・事業承継を促すための働きかけの工夫が役に立った。
- ・ケーススタディが議論を進めるのに役立った。
- ・今後の業務のモチベーションが上がりました。個人としても組織としてもレベルを上げる必要があると感じました。
- ・会計と経営支援の構造が理解できました。金融機関の本業支援の必要性についても理解できた。
- ・金融仲介の部分、バランスシートの見方、考え方方が参考になった。今後の財務分析に生かしたい。
- ・融資の長・短の組み換え提案は、想定していなかったので、新しい発見でした。事業承継部分も念頭において提案していくべき部分が役に立った。
- ・企業への事業承継の切り込み方など、大変参考になりました。
- ・事業性評価のやり方が非常に役立ちました。
- ・国際的な会計の流れであるバランスシートアプローチの提案を身に付けていきたい。他行の方の考え方など討論てきて参考になりました。
- ・コロナ融資の出口を踏まえて、頭の体操として、いろいろな事を検討できた事は良かったと思う。
- ・知的資産を活かした事業性評価による金融支援に関して理解が深まった。「根抵当は歴史」はユニークな視点だった。
- ・正常運転資金の算出、長短バランスの改善、資本性ローンの活用により、取引先の金融支援に繋がる点が役に立った。
- ・講義では、財務諸表から企業の再生支援する際の視点・考え方、流れ等を分かり易く説明していただいた。そして、それをグループディスカッションの中で確認しながら検討できた。
- ・グループ毎で様々な意見が出ており、目線が広がった。
- ・融資組み換えにあたり、根抵当の経緯や設定理由など考慮して提案していくことが必要との考え方方が役に立った。
- ・代表者の株式を担保にする考えが新しく勉強になった。
- ・事業性評価をする上で役立つ質問（売る力、作る力）が特に印象的でした。

## 【その他ご意見等】

---

- ・題材も良く、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・①つくる力②売る力に着目して、企業の力を見ていこうと思いました。大変勉強になりました。
- ・グループワークは時間配分が難しかった。事例を一つに絞り深堀りしてもいいと思った。
- ・他金融機関の職員とのグループディスカッションが大変楽しく色々参考となった。今後、中堅職員向け（法人営業担当等）に同様の研修を行ってほしい。
- ・講師のアドバイスは実務的で非常に勉強になった。今後も実務と理論両方に精通した先生から今後も話を伺いたい。本日は研修を開催いただきて、ありがとうございました。
- ・他金融機関の意見や考え方、講師のアドバイスはとても参考になった。有意義な会議でした。金融機関同士が情報交換できる良い機会である。
- ・他のグループの発表が聞けたのもとてもよかったです。次回以降も是非参加させていただきたい。
- ・今後も同様の研修が行つてほしい。